

(参考)

HIV/エイズの基礎知識

エイズとは？

エイズ (AIDS = Acquired Immuno-deficiency Syndrome) は日本語にすると「後天性免疫不全症候群」という病気の名前です。この病気はH I Vというウイルスに感染することにより引き起こされます。発症するまでは数年から 10 年以上と潜伏期間が長いことが特徴です。H I Vに感染してもエイズを発症するまでは自覚症状がほとんど無く、H I V検査を受けなければ感染しているかどうか判りません。

H I Vの感染経路は限られているので感染を予防することができます。

感染経路 性行為による感染
血液を介しての感染 (注射器具の共用など)
母親から赤ちゃんへの母子感染

* ポイント(伝えたいメッセージ)

- ・ 予防することで HIV 感染が防げること
- ・ 予防のためには、感染経路についてきちんと理解すること、予防のためにはどのような行動が大切かを理解すること
- ・ 自分のこととして、また大切な相手のこととして、この病気を考えることが予防に繋がること

世界と日本のエイズ

国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の発表によると、現在全世界で 3,320 万人がH I Vに感染しながら生きています。昨年 (平成 19 年) 1 年間で新たに 250 万人がH I Vに感染し、210 万人がエイズで死亡しています。

日本では昨年 (平成 19 年) 1 年間で新規H I V感染者・エイズ患者として報告された人の数が 1,500 人と 4 年連続で 1,000 人を超え、過去最高となっています。

* ポイント(伝えたいメッセージ)

- ・ HIV 感染が身近な問題であること(世界でも日本でも)
- ・ 日本でも、一日に 4.1 人が新たに感染が判明していること

(参考)

検査と治療について

検査：HIV検査は全国の保健所で「無料・匿名（名前を言わずに）」で受けることができます。

治療：現在HIVを身体から無くしてしまう治療法はありませんが、さまざまな治療薬が出ており、きちんと服薬することでエイズ発症を抑えることが可能になっています。早期発見による早期治療が重要となっています。

* ポイント(伝えたいメッセージ)

- ・検査を受けることは、自分のためにも、相手のためにも大切なこと。身体の状態を知ることは、自分をケアしていること。
- ・万が一、感染が判っても、早期に判れば色々な治療方法が可能になる。仕事も勉強も続けることができる。また、様々な専門家やNGOが支えてくれ、一緒にエイズと向き合ってくれる。一人ではない。
- ・でも、私たちの心に、「エイズは怖い」という気持ちが強く、HIV感染者への差別・偏見はまだ生きている。感染者・患者も周囲からの偏見・差別が恐く、なかなか周囲へ本当のことを告げることができない。

世界エイズデーとレッドリボンについて

世界エイズデー：世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日が“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定められました。この日を中心に世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。

レッドリボン：“レッドリボン（赤いリボン）”は、エイズに関する理解と支援のシンボルマークです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。

このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなであらう考えましょう。